

岐阜工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	建築構法I
科目基礎情報						
科目番号	0002		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年	1		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	建築構造（実教出版）、発想し創造する建築設計製図（理工図書）、プリント類（適宜配布）					
担当教員	清水 隆宏					
到達目標						
(1)建築構造の基本構成を理解する (2)多様な建築構法の存在を理解する (3)木質構造の材料や構成を理解する						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	建築構造の基本構成が十分に理解できる。		建築構造の基本構成が概ね理解できる。		建築構造の基本構成が理解できない。	
評価項目2	多様な建築構法の存在が十分に理解できる。		多様な建築構法の存在が概ね理解できる。		多様な建築構法の存在が理解できない。	
評価項目3	木質構造の材料や構成が十分に理解できる。		木質構造の材料や構成が概ね理解できる。		木質構造の材料や構成が理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	建築にまず求められる機能は、安全に使用できること・必要な空間を確保していることである。この授業では、主に建築構造の基本となる事項を幅広く学習し、続く専門科目を理解するための基礎知識を習得し、それらを建築設計に活用する手段を理解する。					
授業の進め方・方法	授業は、教科書と板書を中心に行うので、各自学習ノートを充実させること。 適宜参考となる資料等を示すので、予習・復習を必ず行うこと。 また、常日頃から身の回りの建築に注意し、その構法に興味を持つ姿勢が重要である。 英語導入計画：Technical terms					
注意点	中間試験100点＋期末試験100点、合計200点の総得点率（％）により成績評価を行う。 また、授業に対する姿勢も考慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の1～10％を減じた値で評価する。 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点（％）を対応させる。 学習・教育目標：（D－2）100％					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	建築構法で学習する内容のあらまし、世界の建築構法（ALのレベルC）	世界の建築構法について理解する		
		2週	建築物の構成要素	建築物の構成要素について理解する		
		3週	建築物に影響を与える力	建築物に影響を与える力について理解する		
		4週	構造計画の考え方、建築構造の分類	構造計画の考え方、建築構造の分類について理解する		
		5週	木質材料の種類と性質	木質材料の種類と性質について理解する		
		6週	木質構造の種類（ALのレベルC）	木質構造の種類について理解する		
		7週	木質構造の接合方法	木質構造の接合方法について理解する		
		8週	中間試験	1～7週の内容について理解する		
	2ndQ	9週	木質構造の地業、基礎	木質構造の地業、基礎について理解する		
		10週	木質構造の軸組、壁の種類	木質構造の軸組、壁の種類について理解する		
		11週	木質構造の小屋組、床組	木質構造の小屋組、床組について理解する		
		12週	木質構造の階段、開口部	木質構造の階段、開口部について理解する		
		13週	木質構造の仕上げ（外部、内部）	木質構造の仕上げ（外部、内部）について理解する		
		14週	木造枠組壁工法、日本伝統建築の構法	木造枠組壁工法、日本伝統建築の構法について理解する		
		15週	木質構造のまとめ	木質構造について理解する		
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	材料	建築材料の変遷や発展について説明できる。	1	
				木材の種類について説明できる。	1	
				傷(節など)について説明できる。	1	
				耐久性(例えば腐れ、枯渇、虫害など)について説明できる。	1	
				耐火性について説明できる。	1	
				近年の木材工業製品(集成材、積層材など)の種類について説明できる。	1	
				木材の成長と組織形成から、物理的性質の違いについて説明できる。	2	
		構造	建築構造の成り立ちを説明できる。	1		
			建築構造(W造、RC造、S造、SRC造など)の分類ができる。	1		
			木構造の特徴・構造形式について説明できる。	1		

				木材の接合について説明できる。	2		
				基礎、軸組み、小屋組み、床組み、階段、開口部などの木造建築の構法を説明できる。	2		
			施工・法規	建築物などの定義について説明できる。	1		
				工作物の定義について説明できる。	1		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	200	0	0	0	0	0	200
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	200	0	0	0	0	0	200
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0